

目的

府の成長産業（ライフサイエンス産業）の拠点と位置付けている北大阪健康医療都市（健都）において、健康医療関連企業等の集積と健都内外と連携した医療クラスター形成をめざす

健都医療クラスター形成に向けた基本理念

- オープンイノベーションにより、最先端医療・医療技術の開発で世界をリード
- オープンイノベーションに連動したエリアの産業活性化により、国際級の複合医療産業拠点（医療クラスター）を形成

取組内容（令和6年度要求項目）

（1）健都クラスター推進協議会運営事業（H27～）

積算内訳：協議会運営費〔使用料、委託料、旅費等〕 804千円

- 協議会の運営を通じた諸課題の検討・調整、関係機関が一体となった企業誘致活動等を実施
 - ・健栄研の移転に係る諸課題、市事業との連携等にかかる協議・調整
 - ・企業募集等の条件等の協議・調整 など

（2）健都“未来社会の実験場”化に向けた社会実装促進事業（R5～）

積算内訳：促進事業費〔委託料、旅費等〕 R6：9,924千円
R7債務負担：16,851千円

<R6年度>

- 2025年度に大阪・関西万博と並行して、ヘルスケア関連の革新的技術・サービスの展示、体験等を通じて住民や企業等が共創する「健都万博（仮称）」の開催に向けた企画・検討
- リボンチャレンジ等で万博出展予定の企業等を募り、住民参加型の技術体験会などの先行イベントを実施

<R7年度>「健都万博（仮）」を実施

- R6年度に企画・検討した内容を実施
- 万博会場と健都、双方での集客・周遊効果を図るため、万博企画である「TEAM EXPO」事業などとも連動



健都“未来社会の実験場”化に向けた社会実装促進事業

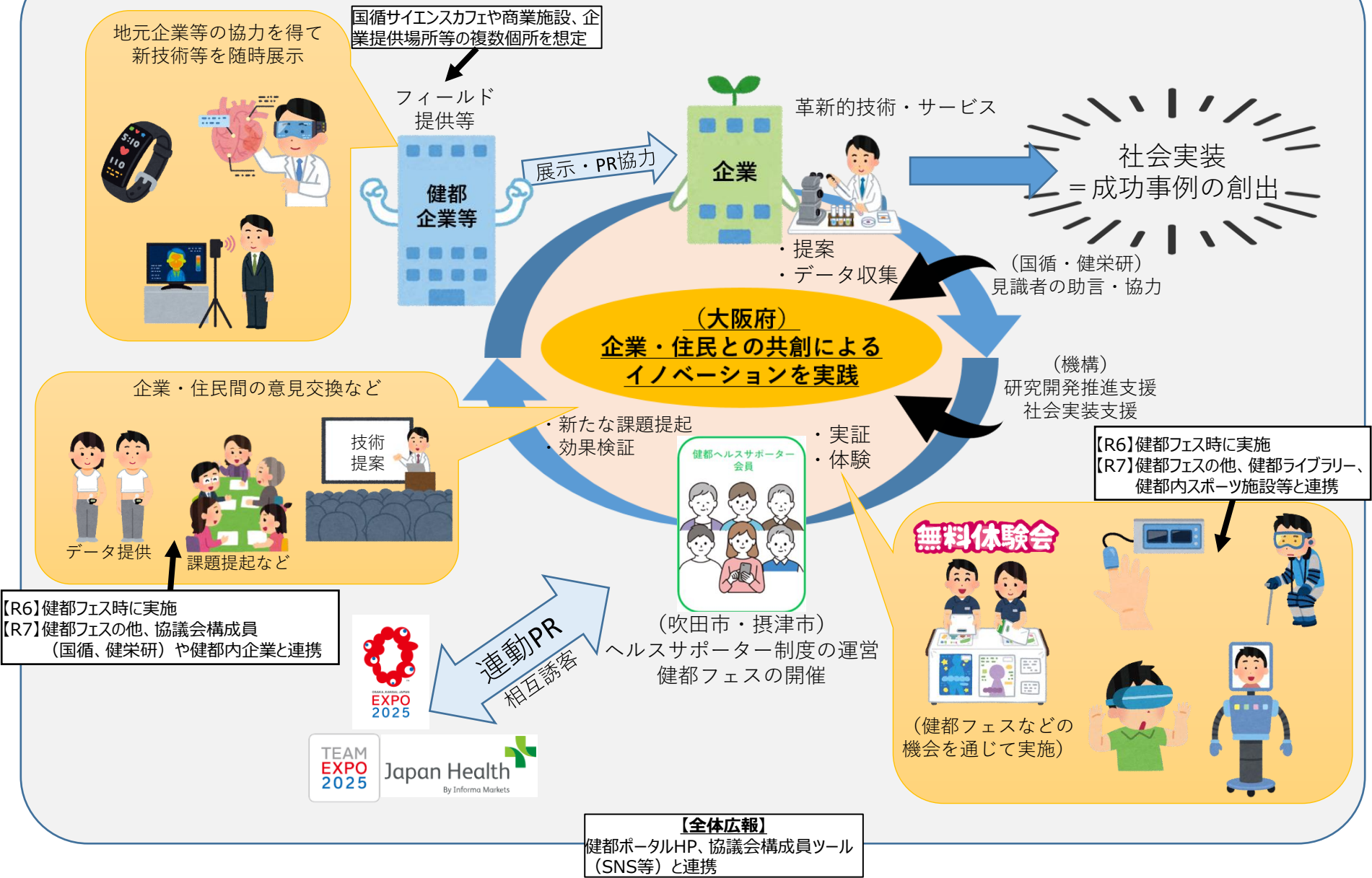
事業概要

住民参加型の新製品・サービスの社会実装をめざす機能を有する健都において、大阪・関西万博の開催期間と並行して、ヘルスケア関連の革新的技術・サービスの展示、体験等を通じて共創する「健都万博（仮称）」を実施する。

●「健都万博」とは

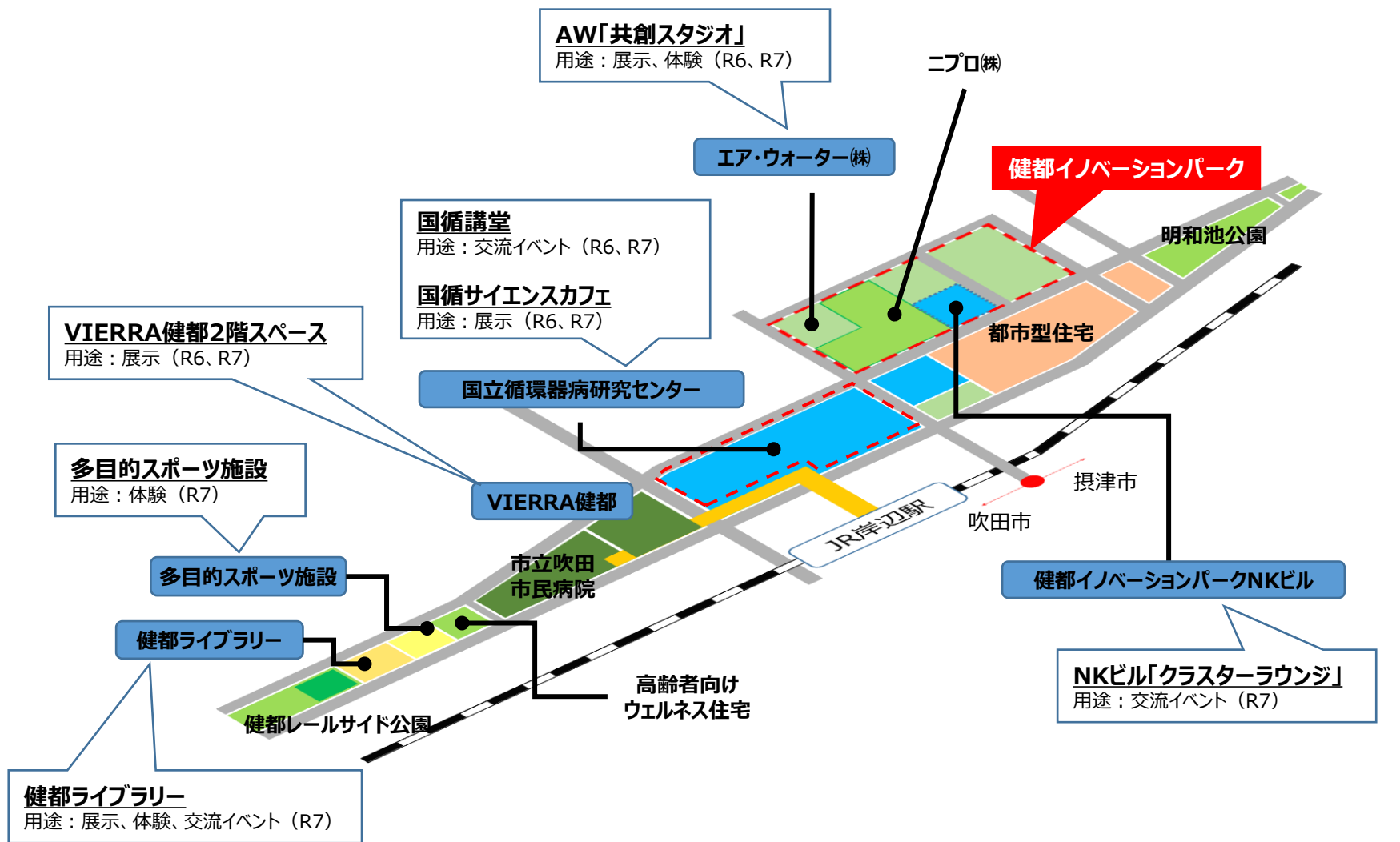
今回府が作った造語。2025年の大阪・関西万博において、様々な技術が披露され、将来展望が示されることとなる。その中で、健康医療分野の製品等の展示も予定されていることから、そうした企業による技術に特化し、健都において披露・体験する機会を設けるとともに、健都発の製品・サービスの社会実装をめざした実証事業を支援する。

健都万博 = 「健都版ヘルスケア産業創出エコシステムの基礎を構築」



健都万博（仮）の各イベント開催場所（想定）

健都フェス会場（健都全体）



※あくまで予算要求時の想定（各場所とは未調整）
他にもイベント実施に効果的なスペースがあれば活用していく。

健都 基本理念の実現に向けて

【基本理念】

- オープンイノベーションにより、最先端医療・医療技術の開発で世界をリード
- オープンイノベーションに連動したエリアの産業活性化により、国際級の複合医療産業拠点（医療クラスター）を形成



北大阪健康医療都市

健都

【万博AP】

2030（万博後のめざす姿）

健都を核に、新たなヘルスケア産業を創出するエコシステムと、住民の健康に係る行動変容の好循環を実現

【2024～2025健都万博】

企業・住民・機構による
共創を健都万博で実践

健都版ヘルスケア産業創出 エコシステムの基礎を構築

住民：主体性を発揮し、自らの課題提案から実証、フィードバックまでに関わりを持つ

機構：共創の実績、ネットワークの構築等のノウハウを蓄積する

企業：住民参加型の共創フィールドとして、健都の有効性を認識してもらう

健都発の
成功事例を創出

【現状】

- ・国循や健栄研を核とした企業誘致等を通じて健康医療のまちづくりを推進
- ・実証事業都市に向け、各関係機関が仕組みづくりを推進